



NPO PTPL “ともいき” 便り No.20

■ 大寒（だいかん）号（2013年1月20日発行）

一年で一番寒さの厳しい頃となりました。寒さの底。あとは上昇するより他ありません。三寒四温のリズムにのって春へと季節は進んでいきます。それにしても、今年は寒いですね。「日本で一番寒い町」としてテレビでよく紹介されている北海道の陸別町の寒さには、びっくり。マイナス 30.2 度の生活なんて、想像できません。ちなみに、陸別町の町花は「福寿草」。雪に咲く星のような花に、春を待ちわびる町の人たちの気持ちが伝わってきます。

1月24日（木）25日（金）は、亀戸天神、湯島天神で「鶯替え神事（うそかえしんじ）」が行われます。ともいき暦（1月7日）によると、そもそも「福岡県太宰府天満宮で行われる神事。…略…。鳥の「うそ」を「嘘」にかけ、一年間についた嘘を祭神である天神様（菅原道真）の誠に取り替えて、汚れを祓おうとする神事であり、「うそ」は天神様の使いの鳥とされています。」とのこと。つまり前年に買った鶯（うそ）という鳥の木彫りを納め、新しい鶯を買うと、「凶がウソになり一年間の吉をいただける」のだそうです。鶯は頬の赤いかわいらしい鳥。鳴き声が口笛をふくように聞こえるので古語の「嘯（うそぶ）く＝口笛を吹く」からつけられたとか。毎年大勢の人でにぎわい、鶯の木彫りは一日で売り切れてしまうこともあるそうです。行かれる方はお早めに。

2月3日は「大寒」の最終日、「節分」です。「節分」は「季節の分かれ目」。立春、立夏、立秋、立冬の前日をさしますが、今は立春の前日のみをいうようになりました。旧暦では「立春」が一年の始まりとされていたので、前日に豆をまいて邪気を祓い新しい年を迎えます。「焼いかかし」は焼いたイワシの頭をヒイラギに刺して玄関にさす鬼祓いのおまじない。鬼はいわしの臭いをいやがり、ヒイラギの棘に目をさされるので家に近づかないそうです。また最近「恵方巻き」も有名です。節分の夜に恵方を向いて太巻きを食べると一年間健康で

過ごせるとか。今年の恵方は南南東。1本食べ終わるまでおしゃべりしてはいけません。我が家では、毎年焼いかがしと豆まきはセットで行います。特に今年には年女がいるので力が入ります。恵方巻きは太巻き1本は食べきれないので、母が細巻きを作ってくれます。ご利益があるかは疑問ですが。

なんだかんだと、「大寒」は忙しい。鶯替え神事でウソをお返しし、豆まきで穢れを祓い、恵方巻きで健康をいただかなくては。寒い寒いと縮こまってはられません。遊び心を發揮して、楽しみながら福を呼びこみたいものです。

この時季、私は「泣いた赤鬼」（作：浜田広介）や「雪渡り」（作：宮沢賢治）を読み返したくなります。いいお話しです。お薦めします。「大寒」の季語に「春隣（はるどなり）」という言葉があります。とても寒いけれど、隣にはもう春がきている……。身体が温まるようないい言葉です。大寒の中に小さな春の兆しを見つけながら。一步一步、春へ。

（「ともいき暦」の「大寒」ゾーンの「季語」をクリックすると様々な季語と意味をみることが出来ます。<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2013/>）

すとうあさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事）

■ 事務局だより

◎ 初雪が降りました。

1月14日(月)、この日は「成人の日」、折しも東京に初雪が降り、それも久しぶりの大雪でした。新成人にとっては冷たく、厳しい門出となったようです。

「和と個」。都内各所で行われた雪かき状況を見ると、昔から絆の深い町内会や商店街では、和の精神で雪かきが行われていますが、メイン通りから一本離れた路地にある店舗や住宅地では、周辺全体ではなく自分の周りだけ、それも人がやっと通れるスペースの雪かきが多く見られました。これは「個」重視なのでしょうか？

◎ 大雪の節気期間中は、「冬の土用」の期間でもあります。

冬の土用の期間は1月17日～2月3日の節分までの18日間です。この18日間をかけて、季節は冬から春の準備に入ります。そして翌日が「立春(春が立つ)」です。

◎ 「ともいき便り」のバックナンバーがご覧いただけます。

「ともいき暦」(<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2013/>)の表紙の下部の「ともいき便り」をクリックするとNo.1からのバックナンバーがご覧いただけます。

◎ みなさんからの投稿をお待ちしております。

事務局では、多くに方々からのいろいろな投稿(季節やともいきぐらしに関するコメント、写真、映像、俳句などなど)をお待ちしています。

送られたものは、サイトやfacebookなどで記載させていただきます。

◎前号で紹介した理事長勝田祥三の「新しい年 2013年の年頭にあって」お読みいただけましたでしょうか？

ぜひ、ご意見、ご感想をお寄せください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp

